

No.206

KANTOU

かんとう



特集／22年前の古紙余剰を振り返る。
若い組合員へ過去の歴史認識を！

秋号

発行 関東製紙原料直納商工組合
2019.10.20 発行人 大久保信隆／編集人 斎藤大介

東京都台東区東上野1-17-4 坂田ビル
電話 03(3833)4105(代) <http://www.kantoushoso.com>

安全防災委員会 / 移動委員会報告



集合写真



九州商組・紙藍会メンバー



会議風景



会議風景



高千穂神社



天岩戸神社

巻頭言

「自然災害と過渡期」

関東製紙原料直納商工組合

理事長

大久保信隆

台風15号の被害に遭われた多くの方々に心からお見舞い申し上げます。9月9日関東地方を襲った久しぶりの大型台風はインフラやライフラインの混乱を招きました。首都圏のJRなどの鉄道各社では早めに運休の判断をしましたが、運転再開後は首都圏の各駅で人が溢れかえり、その混乱ぶりは日本人の真面目さと企業の指示と対応が欠如していたと思います。そして道路

の渋滞もすごく「じっと待つこと」で大変でした。今回は夜中から明け方にかけての超強風による自然災害でした。千葉県では送電線や電柱が倒され、停電や断水が長期に渡り、屋根が剥がされ、ゴルフ練習場の鉄柱が倒れ、隣接する家屋に直撃するなど、甚大な被害がでました。

横浜では超強風により大波が岸壁を超え、コンテナやバールを遠くまで運んだ。東京の大島や新島の島部被害も甚大だった。熱中症やブルーシート掛けで死者も出ました。現代社会は水と電気が無いと生活が動かなくなるので、早い復旧と緊急避難先が必要です。そして壊れたものを集めておく場所の確保と情報収集や判断の迅速化と都市設計を考えて行動していかなければなりません。

この度の災害では組合員の皆様も電気が無いと事業が出来ないため、電気の有難さと大切さをより感じ、頭に刻んだと思います。台風の通り道の会社の方には重ねてお見舞い申し上げ、早い復旧を願っております。

さて、古紙業界では昨秋の「国内メーカー優

先」と古紙“不足”対策の会合が、年が変わって古紙“余剰”対策になりました。原因は米中経済の関税合戦、英国のEU離脱問題、ドイツ経済の低迷等世界経済に悪影響が出て、景気が悪くなる見通しから製紙各社が生産制限を行うと共に、中国が本年度インポートライセンスの発行減によって、日本からの購入を控えたため、我が国の段ボール古紙は160万t入超になるので、一気に

在庫が増え余剰になってしまい新聞古紙も洋紙の使用生産減から問屋在庫は急増していきました。私は新聞発行部数が少なくなっているのに、タイムラグで古紙在庫は一時多くなるが、使いやすい原料なので需給は安定すると思います。売り急ぎはやめて、問屋として在庫は増やすべきだと思っています。中国の2020年対策はどうか分かりませんが、その時になってからでは遅いので需給調整事業として国内メーカーさんの協力を頂いて、段ボール古紙を中国以外の国々への道筋をつけさせて頂くと共に、理事の理解を得て2コンテナずつ協力願ひ、需給が安定するまで行うことを決議しました。

8, 9, 10月と台湾正隆に、10月から王子製紙さん経由でマレーシアへ決まりました。あとタイとベトナムは日本製紙さんとレンゴーさんに紹介してもらいます。わが関東商組は適正仕入価格と品質の良い古紙リサイクルシステムを維持し、需給バランスを保つよう頑張ります。組合員皆様の一層のご協力をお願いします。

(2019.9.19)

関東商組理事会報告

令和元年度 第2回 理事会報告

開催：令和元年6月24日(月)
15時～16時45分
関東商組事務局 会議室

出席状況：出席…28名

1. 古紙持ち去り関係

- (1) 令和元年度 GPS 追跡調査実施状況
合計 3回実施 持ち去り 5/22
正規ルート 5/8、5/20
(4月理事会から本理事会の間)

2. 各支部市況報告 [報告]

		前月末在庫状況	特記事項
東京都	東支部	やや多い	
	西支部	やや多い	6/27 ゴルフコンペ
	多摩支部	ランニング	6/127 支部会
神奈川県	東部	多い	5/26 総会、6/7 支部会
	西部		7/11 支部会予定
千葉県支部		やや多い(段ボール、新聞)	7/25 支部会
埼玉県支部	京浜	なし(段ボール多い)	4/19 東部ブロック会
	北部	新聞、雑誌ランニング	4/22 役員会
群馬県支部		多い	
茨城県支部		多い	6/20 支部会
栃木県支部		段ボール多い	

3. 段ボール余剰問題への対応

中国以外のメーカーへの輸出
インドネシアを除外する。(検査が必要であ

- り、検査費用が発生するため。)
- 4. 人材不足アンケート集計結果(関東商組及び全原連)
人材の不足人数に対して、約7割が対応できていないという調査結果が出た。
- 5. 組合加入後に増資があった場合等の取扱い及び関連調査の実施
組合加入後に増資があった場合で組合加入要件(※1)を超えた場合には、公正取引委員会に届出なければならない。
中小企業等協同組合法第7条第3項の規定(※1)に関する調査を実施する。(組合員116社が対象)
(※1) ①資本金の額は1億円を超えないこと。②常時使用する従業員の数が100人を超えないこと。
- 6. 労働災害報告
- 7. 集団回収団体の推薦
関東商組の推薦枠 13団体
推薦枠2(東京都東、神奈川、千葉、埼玉支部)
推薦枠1(東京都西、多摩、群馬、栃木、茨城支部)
- 8. 東京都中小企業団体中央会会長表彰の推薦
- 9. 家庭紙委員会への委員派遣
近藤勝副理事長、高橋德行理事
- 10. 第24回東京とことん討論会への協賛
7/24開催(協賛金は7/23までに指定口座へ

目次	巻頭言……………	1	三紙会 Tweet ……	27
	関東商組理事会報告……………	2	業界人語……………	28
	令和元年度 東京都功労者表彰式 ……	5	編集後記……………	28
	三紙会定例会報告……………	6		
	六地区懇談会報告……………	9		
	特集/22年前の古紙余剰を振り返る ……	13		
	委員会トピックス……………	25		

【表紙写真】
「秋はもみじの永観堂」と評判の京都、禅林寺の境内。古今和歌集にも詠まれる観光客人気第1位の紅葉が圧巻です。11月下旬が見頃。
渉外広報・IT委員長 須長 利行

振り込み)

11. 各会議報告

- 1) 総務財務委員会 (6月13日開催)
- 2) 正副・総合運営委員会 (6月13日開催)

12. 近代化推進事業報告

- 1) 経営革新委員会 (5月9日、6月11日開催)
 - ・古紙リサイクルアドバイザーの試験日程〈6月11日(火)18時15分試験開始 台東区生涯学習センター〉
 - ・品質管理責任者テキストの更新版を全原連ホームページへ掲載予定。試験は秋頃に従来通りの手順で実施する予定。
 - ・働き方改革について、古紙業界の就労者数や不足人員を把握するためアンケート調査を検討。匿名回答可能ですので、調査にご協力をお願いします。
- 2) 安全防災委員会 (5月16日開催)
 - ・中部商組と制作をした安全ポスターが完成し、全国へ発送した。
 - ・次年度は九州商組と安全ポスター制作を計画 (今年秋)
- 3) 需給委員会 (4月24日、5月24日開催)
 - ・4月積み輸出を再開した。(国内需給調整のため)
 - ・共販輸出は今後も継続する意向ではあるが、事業内容について都度変更する可能性もある。品質面でのリスクが低いインドネシアについて、中国同様の全量検査を実施する方向である。
→ 2019年6月～7月頃実施の見込み (当初は2019年4月1日からの実施予定だった)
 - ・次年度の国際調査事業については、古紙センターの現地調査に同行する方向で検討する。2020年1～3月頃 (ベトナム・マレーシア) 需給委員会から2名参加する予定。調査員は委員会で決定する。
- 4) 渉外広報・IT委員会
 - IT活用部会 (開催なし)
 - かんとう編集部会 (6月18日開催)

「かんとう205号 (夏号)」校正を行った。
「かんとう206号 (秋号)」企画会議を行った。

13. 三紙会 [報告] (4月21、5月21日開催)

令和元年5月 主要裾物三品仕入報告

- ・段ボール：前月比98.9%、前年比 98.5%
- ・新聞：前月比98.6%、前年比 94.6%
- ・雑誌：前月比92.7%、前年比100.3%

各種統計資料等

1. 関東商組32社古紙在庫月別報告書 (2019年5月)
2. 関東商組32社仕入予測数量 (2019年7月～9月)
3. 財務省貿易統計 古紙輸出まとめ (2019年4月)

◎次回開催：令和元年7月25日(木) 15時～

令和元年度 第3回 理事会報告

開催：令和元年7月25日(木)
15時～16時45分
関東商組事務局 会議室

出席状況：出席…29名

1. 定款変更の認可

〈変更後の条文〉

(事業) 第7条2項(3) 組合員の取り扱う製紙原料古紙及び車両燃料等の共同購買 (役員の定数等) 第27条2項 第8条第2項各号の一つに該当する者は、役員となることが出来ない。

(員外役員) 第29条2項 本文削除

燃料共同購入事業については8月下旬に支部長会議を開催する。

2. 古紙持ち去り関係

(1) 令和元年度 GPS 追跡調査実施状況

合計 2回実施 正規ルート 7/3、7/8 (5月理事会から本理事会の間)

3. 各支部市況報告 [報告]

		前月末在庫状況	特記事項
東京都	東支部	段ボール やや多い	
	西支部	やや多い	
	多摩支部	ランニング	7/19 支部会(ゴルフ)
神奈川県	東部		7/11 支部会
	西部		8/27 ゴルフ
千葉県	支部	少し減ってきている	7/24 支部会
埼玉県	東部	一部ヤードで段ボール多い。新聞、雑誌ランニング	7/5 ブロック会 7/22 役員会
群馬県	支部	少し多い	
茨城県	支部	ランニング	7/23 茨城組合総合
栃木県	支部	段ボール多い	

4. 関東商組における段ボール古紙余剰問題への対応

〈目的〉

需給調整事業として実施する。

〈対応案〉

契約期間 3ヶ月 (メーカー系商社経由)

数量 500トン×2～4ヶ国

(数量は状況に応じて検討する)

仕向地 中国以外

(中国以外のルートを確保することで、将来的にも安定した需給安定が見込める)

役員等 1～2本 (詳細は検討する)

〈進め方〉

需給安定策のため、日本の製紙メーカー (関東地区委員会委員長等) に説明、了解を得る。国内製紙メーカーに説明をした後、具体化を図る。(需給委員会中心)

速やかに進める必要があるため、今後取組む具体策の詳細事項等は、9/20理事会で事後承認。(8月理事会休会のため)

5. 古紙リサイクルアドバイザー認定申請

リサイクルアドバイザー 新規受験者 19社 73人 (内合格者 18社 68名)

不合格者については出来るだけ早く再試験を行う。

6. 理事辞任の申し出及び対応

渋谷則幸理事から辞任の申し出があった(6/20付)。来年5月の通常総会まで空席とする。

(参考) JP資源の事業所は福田三商(株)の営業

所として存続する。福田三商(株)には組合加入を働きかける。

7. 各会議報告

- 1) 総務財務委員会 (7月16日開催)
- 2) 正副・総合運営委員会 (7月16日開催)

8. 近代化推進事業報告

- 1) 経営革新委員会 (7月18日開催)
 - ・古紙リサイクルアドバイザー試験を実施した。〈6月11日(火)〉
 - ・品質管理責任者の試験を更新する。次回適格事業所更新 (R3年3月末) までに新試験の受験をお願いします。
 - ・品質管理責任者テキストの更新版を全原連ホームページへ掲載予定。
 - ・新試験は秋頃に従来通りの手順で実施する予定。
 - ・出前講座…8/3船橋市、8/8または8/9厚木市で予定。
 - ・海外調査事業としてフランス・オランダを視察予定 (10/13～21)
- 2) 安全防災委員会 (7月17日開催)
 - ・地域組合と安全ポスター制作を計画 (今年秋) 9/10、9/11九州商組と合同で熊本開催予定。
 - ・安全セミナー 10/26(土)開催予定 (7社 21名参加予定)
 - ・秋のリーフレット・防火ポスターの作成
- 3) 需給委員会 (6月26日、7月24日開催)
 - 正副委員長会議 (7月4日開催)
 - ・輸出共販事業 (8月積み) は三品見送り。→有効な見積りがなく、輸出できる環境が整わなかったため。
 - ・商社からの見積り提示が少ないため、商社社会で見積り条件緩和について意見を伺った結果、従来通り進めていくこととなった。→バンニングタイムを1.5ヶ月に伸ばしても、商社からの見積り提示に影響がないとの返答だった。
 - ・8月に計画していた台湾栄成紙業調査に

については調整つかずに中止となった。9月に永豊餘調査を計画。

〈商社会〉

- ・ベトナム・タイ・(インドネシア)の航路が確立されているので日本には有利との商社見解。
- ・余剰対策については、アメリカ、欧州(一部除く)は埋め立て。イギリスは安値でも輸出しているとのこと。

4) 渉外広報・IT委員会

IT活用部会(開催なし)
 かんとう編集部会(開催なし)
 「かんとう205号(夏号)」が7/20発行された。

9. 三紙会〔報告〕(7月23日開催)

- 令和元年6月 主要裾物三品仕入報告
- ・段ボール：前月比 96.3%、前年比 98.2%
 - ・新聞：前月比 93.1%、前年比 90.1%
 - ・雑誌：前月比 87.1%、前年比 95.0%
- 六地区懇談会 7/5 中国地区開催

各種統計資料等

1. 関東商組32社古紙在庫月別報告書(2019年6月)
2. 財務省貿易統計 古紙輸出まとめ(2019年5月)

◎次回開催：令和元年9月20日(金) 15時～

令和元年度 東京都功労者表彰式

令和元年10月1日(火曜日)都議会議事堂1階 都民ホールにて、東京都功労者表彰功労者306名の表彰が行われました。関東商組からは藤川達郎副理事長が産業の振興に尽力し、都民の福祉増進に寄与した功績が顕著な功労者として、東京都功労者表彰(産業振興功労)を授与されました。

〈受賞者〉

藤川 達郎 副理事長



藤川達郎副理事長



小池都知事 祝辞



表彰式会場

三 紙 会 報 告

6 月 度 定 例 会

日 時：令和元年 6 月 17 日(月)
 15 時 30 分～17 時 00 分
 場 所：関東製紙原料直納商工組合 会議室
 幹 事：藤井 康輔・(株)マンモスエコロジー
 二階堂 広和・(株)藤川紙業
 報告者：後藤 和則・(株)高岡

【令和元年 5 月度

裾物主要三品仕入実績報告 (36 社)】

[段ボール] 前月比 98.9% 前年比 98.5%
 [新 聞] 前月比 98.6% 前年比 94.6%
 [雑 誌] 前月比 92.7% 前年比 100.3%

【ブロック別仕入平均単価報告】

○各地区発表
 平均単価：段ボール…10.86 円、新聞…14.07 円、
 雑誌…6.56 円

【各委員会活動報告】

●業務委員会：

(1) パルプ市況報告

[NBKP] \$ 価格 770～790 前月比 -20
 [LBKP] \$ 価格 670～740 前月比 -50
 [総括]

〈NBKP〉日本向け 5 月積は前月比概ね値上げ。
 中国では米中貿易摩擦等の影響により依然として購買意欲は減退傾向となっている。その一方で、供給側では生産トラブルもなく順調に稼働しており、その上、欧州市場で売れ残った NBKP が中国へ流入しつつあるため、中国主要港湾在庫は高水準の状態が続いている。このような状況下、中国のトレーダーは運転資金確保のために安値で在庫品を販売せざるをえず、国内の在庫価格は大幅に下落。この結果、5 月の中国向けリスト価格も \$60～100 程度の値下げにて決着となった。なお、日本

向けについては、4 月の中国マーケットの価格動向を受け、5 月積で概ね \$20 の値下げで決着し、更に 6 月積についても値下げが予想されている。

〈LBKP〉日本向け 5 月積は前月比概ね横ばいで決着。需要減退を受け、最大手サプライヤーの Suzano (ブラジル) が、2019 年中に生産調整により 100 万～150 万 t 程度を減産する計画を発表したことに加え、生産工場の休転や製品目の転換により LBKP の生産量を調整するサプライヤーが現れはじめた。しかしながらそれでも欧州、中国の主要港湾の在庫過多は解消されず、需要バランスを引き締める程の影響は見られなかった。結果として、中国向け 5 月価格は概ね \$50 程度の値下げで決着した模様。6 月についても NBKP 同様、中国経済の影響や季節要因により、需要が回復する兆しは見られず、サプライヤーは更なる値下げプレッシャーを受けるものと考えられる。

(2) 上物市況報告

[白板向け見当] 生産は好調。発生減が強く余剰感は無い。

[洋紙向け色上] 今後弱含み要素あり。発生は低調。

[特更向け別上・切付] 出版物の販売不振は深刻。発生は低調。

[家庭紙向け] 製品在庫が多く 7 月の岳排、8 月のお盆を控えて弱含み要素が強い。雑誌の輸出価格下落による還流で在庫は潤沢。

次回の三紙会は【7 月 23 日(火)15 時 30 分～】とする。活動内容の予定は以下の通り。

- 裾物三品仕入平均単価報告
- ブロック別仕入平均単価報告
- 各委員会活動報告
- 定例会終了後 暑気払い 浅草橋 鈴木屋
18:00 より

7 月 度 定 例 会

日 時：令和元年 7 月 23 日(火)
 15 時 30 分～ 17 時 00 分
 場 所：関東製紙原料直納商工組合 会議室
 幹 事：高山 友生・(有)北信紙業
 伊藤 弘幸・(株)二見
 報告者：足立 進・王子斎藤紙業(株)

【令和元年 6 月度

裾物主要三品仕入実績報告 (36 社)】

[段ボール] 前月比 96.3% 前年比 98.2%
 [新 聞] 前月比 93.1% 前年比 90.1%
 [雑 誌] 前月比 87.1% 前年比 95.0%
 [総括] 発生が悪く三品共に先月、前年割れとな
 った。

【ブロック別仕入平均単価報告】

○各地区発表

平均単価：段ボール…9.93 円、新聞…12.71 円、
 雑誌…6.08 円

[総括] 前年からの輸出単価下落に伴い仕入単価
 は値下がり続いている。

【各委員会活動報告】

●業務委員会：

(1) パルプ市況報告

[NBKP] \$ 価格 770 前月比 -20
 [LBKP] \$ 価格 690～710 前月比 -30～-60
 [総括]

〈NBKP〉需要が低迷を続ける中、夏場の不需求
 期に突入。中国では、先安観を持つユーザー
 は当用買いに徹しており、6 月の国内の在庫
 価格は下落を続け、この結果 6 月の中国向け
 価格は \$ 40～50 程度の値下げで決着。日本
 向けについては、サプライヤーによって値下
 げ対応が異なるものの、6 月積みにて \$ 20、そ
 して 7 月積みにて更なる値下げが予想されて
 いる。軟化傾向が依然として続く NBKP 市況
 だが、今後は NBKP 供給量が引き締められる
 見込みとなっている。北米やロシアの一部サ
 プライヤーがパルプ市況悪化等を理由に、製

造ラインの休転を実施する事を発表。また、
 休転に追随するサプライヤーも現れると予想
 されており、中国ではトレーダーが NBKP 購
 入量を増やす動きを取り始めている。7 月下
 旬時点では、NBKP 市況に大きな影響は見ら
 れていないが軟化傾向が多少収まる可能性が
 出てきた。

〈LBKP〉6 月の LBKP 市況は前月に続き軟化傾
 向で推移。南米勢の中には、LBKP の生産量
 を調整するサプライヤーも現れ始めたものの、
 中国の主要港湾には他のマーケットで販売し
 きれなかった LBKP が随時到着しており、引
 き続き港湾在庫は高水準を維持している。需
 要面では、中国経済は依然として米国との貿
 易摩擦により低迷が続いている為、ユーザー
 の購入意欲は低調に推移した。結果として、6
 月の中国向け価格は \$ 50～\$ 70 程度値下がり
 した模様。日本向け 6 月積みについては前月
 比 \$ 30～60 の値下げとなり、7 月積みについ
 ても更に値下げとなる見通し。7 月に入り、中
 国ではこれまで市況動向を静観していたユー
 ザーの一部が徐々に市場に復帰し始めている。
 ただし今のところ軟化傾向を反転させるほど
 の影響は見受けられない。

(2) 上物市況報告

[洋紙向け] パルプの下落に連れ安となる形で価
 格弱含むも発生自体は悪く、岳排など使用工
 場の SD で瞬間的に高まった余剰感は解消さ
 れるか？ 国内はなおも停機や転抄など弱含
 み要素多く、引き続き動向を注視する必要が
 ある。

[白板向け] 生産は好調。同様に発生減が強くと
 余剰感は無い。

[特更向け] 出版物の販売不振は深刻であり、そ
 れに伴う切付の発生は低調。

[家庭紙向け] 古紙の発生自体は強くないもの
 の、他商材や他製品使用工場からの還流起因
 でメーカー古紙在庫は余剰というひずみが生
 まれている。SD によって月末余剰感が解消
 されないケースも考えられる。

[総括] 総体的に上物古紙発生は低調のまま続いている。

●研究委員会：

- ・新聞・チラシ重量調査（6月度）集計結果配布

●財務委員会：

- ・原価構成比調査依頼

●その他：

- ・7月5日に広島で開催された六地区懇談会についての報告
- ・定例会終了後、屋形船『鈴木屋』にて暑気払いを開催

8 月 度 定 例 会

日 時：令和元年8月19日(月)

15時30分～17時00分

場 所：関東製紙原料直納商工組合 会議室

幹 事：増田 悦宏・(株)増田商店

高橋 徳行・(株)丸十商店

報告者：新井 英樹・新井紙材(株)

【令和元年7月度

裾物主要三品仕入実績報告（36社）】

[段ボール] 前月比 104.8% 前年比 100.9%

[新聞] 前月比 102.7% 前年比 93.1%

[雑誌] 前月比 101.4% 前年比 101.9%

【ブロック別仕入平均単価報告】

○各地区発表

平均単価：段ボール…8.64円、新聞…11.28円、
雑誌…5.44円

【各委員会活動報告】

●業務委員会：

(1) パルプ市況報告

[NBKP] \$ 価格 700 前月比 -70

[LBKP] \$ 価格 600～750 前月比 -60～-90

[総括]

〈NBKP〉不需要期に入り軟化傾向が続いているが、中国の市況については下げ止まりの様相が見受けられ始めた。市況悪化で北米及びロ

シアの一部のサプライヤーが製造ラインの休転を発表後、中国ユーザーの中には現価格帯を底値と捉え、購入量を増やしつつあった。結果、中国向け価格は概ね横ばいで決着。日本向けは概ね\$70程度の値下げで決着。8月はチリのサプライヤーが中国向けに\$10の値上げを発表。値上げは失敗すると見られているが市況は徐々に底値を脱しつつある。また、ロシアでは森林火災が発生し、今後のロシア産NBKPの供給に影響を与える可能性もある。

〈LBKP〉軟化傾向で推移。南米の一部サプライヤーは生産制限を続けているものの、未だ在庫過多は払拭されていない。中国では一部ユーザーが徐々に市場に復帰し始めたものの、依然として貿易摩擦や季節要因による需要減と先安観から、大多数は購買量を極力絞り値下げ圧力を強めている。結果中国向け価格は\$50程度の下落、日本向けは前月比\$60～90下落で決着。8月も軟化傾向で推移すると考えられている一方で、強気な販売政策を続けていた大手サプライヤーがユーザーに歩み寄りの姿勢を見せ始めている。一部大手ユーザーに対して特価対応を行い、積み上がった在庫を解消する動きを取り始めている。

(2) 上物市況報告

[洋紙向け] パルプ価格の下落に連れ価格は弱含みだが、発生は引き続き低調のため、低位均衡といった感がある。

[白板向け] 洋紙向け同様、発生は低調。余剰感を感じられない。

[特更向け] 出版物の販売不振は深刻。それに伴う切付の発生は低調。

[家庭紙向け] 印刷・製本の休みにより発生が極端に悪く、メーカーへの納入がままならない状況。益明け本格的に稼働すると思われるが、そこまでのひっ迫感はない感じがする。

●研究委員会：

- ・新聞・チラシ重量調査依頼（9月調査分）

六地区懇談会報告

開催日：令和元年7月5日(金) 14時30分～17時30分

会場：ホテルグランビア広島

出席者：[三紙会] 平松会長、冨澤副会長、近藤相談役、持永業務委員長、濃田財務委員長、島田財務副委員長、川又研究委員、相田広報副委員長（以上8名）

[中部ファイバークラブ] 11名、[近畿・紙朋会] 6名、[四国・紙志乃会] 6名、[九州・紙藍会] 4名、[開催地 中国・紙縁会] 20名 計55名

報告者：(株)丸興佐野錦一商店 相田 寛文

1. 開会の辞

中国地区製紙原料直納商工組合 小六理事長

本日は中国地区製紙原料直納商工組合の青年部である紙縁会が発足してから、初めて中国地区で開催される記念すべき六地区懇談会ですが、これほど多数の方にお集まりいただきまして誠にありがとうございます。現在、古紙の余剰問題が深刻化しておりますが、これは我々にとって、今までのような売上が最優先のような考え方を改めて、いかに利益を継続的に生み出して、末永く生き残っていくのかについて考え直す機会となっております。そのためにも本日の懇談会では皆さんで積極的に意見を出し合って、実りのある会にしてもらえたらと思います。



【懇談会・開会の辞】中国商組 小六理事長

2. 各地区市況報告

(1) 仕入価格

※仕入価格の()内は、高値価格

	段ボール	新聞	雑誌
関東地区	8.0～14.0	10.0～15.0	3.0～8.0
中部地区	6.5～9.5	6.9～9.0	3.8～6.7
近畿地区	9.0～11.0 一部高値あり	9.0～12.0 一部高値あり	7.0～8.0 一部高値あり
中国地区	8.0～11.0 (11.0～13.0)	9.0～12.0 (12.0～14.0)	6.0～9.0 (9.0～11.0)
四国地区	資料の配布 がなく不明	資料の配布 がなく不明	資料の配布 がなく不明
九州地区	9.0前後	9.0前後	7.0前後

(2) 発生状況

① 関東地区 (5月実績)

- 段ボール 対前月比 98.9% 対前年比 98.5%
- 新聞 対前月比 98.6% 対前年比 94.6%
- 雑誌 対前月比 92.7% 対前年比 100.3%

仕入価格の下げは少しずつ進んでいる。メーカーへの納入は工場の受入れ時間の制限や荷止めがあり、非常に苦慮している。

② 中部地区 (5月実績)

- 段ボール 対前月比 99% 対前年比 100%

■新聞 対前月比 105% 対前年比 95%

■雑誌 対前月比 100% 対前年比 102%

仕入については、人手不足と市況の暴落により、引取りは0円、小口については逆有償の動きも出ている。メーカーの荷止めにより、問屋の在庫水準が上がっている。

③近畿地区 (5月実績)

■段ボール 対前月比 99% 対前年比 98%

■新聞 対前月比 99% 対前年比 97%

■雑誌 対前月比 98% 対前年比 94%

G20の開催期間中は回収が制限されていたため、その分、今月に入って雑紙の回収量が増えている。

④中国地区 (5月実績)

■段ボール 対前月比 100% 対前年比 101%

■新聞 対前月比 99% 対前年比 88%

■雑誌 対前月比 86% 対前年比 94%

回収量の減少や後継者不足により、回収業者の廃業が目立っている。

⑤四国地区

仕入価格については中国地区と同じような状況。

⑥九州地区 (5月実績)

■段ボール 対前年比 ほぼ横ばい

■新聞 対前年比 95%～100%

■雑誌 対前年比 ほぼ横ばい

メーカーは来月減産を予定しており、納入が減る見込み。

3. 各地区輸出状況

①関東地区

関東商組の共販輸出は、昨年末から今月まで応札する商社が少ないなどの理由から、入札の見送りが続いている。

②中部地区

中部商組の輸出は、昨年11月から入札の不成立が続いていたが、7月は段ボールが5.3円で成立した。今年の春から入札に参加する商社が7社から11社に増えた。

③近畿地区

先月、紙朋会でアメリカ東海岸へ視察に行った。東海岸はメーカーが少なく、現在古紙はほとんどが東南アジア向けの輸出であるが、何とかあふれずに流れていた。また2020年問題の対策として中国のメーカーがアメリカの小規模メーカーを買収して、中国へ輸出するための古紙パルプを製造する動きが出始めていた。

④中国地区

中国方面の輸出はほとんどなくなり、東南アジア諸国等への輸出が増えたが、以前に比べてコンテナ積み込みの際の写真撮影などのチェックが厳しくなった。

⑤四国地区

四国地区の5月の輸出量は昨年と比べて60%程度であり、かなり減少している。今後も輸出価格は昨年のような急激な上昇は見込めず、またインドネシアも全量検査となったので、輸出量はあまり伸びないと思われる。

⑥九州地区

もともと輸出の割合が高い地区であり、輸出



【懇談会・司会】紙縁会 佐藤氏

価格が安くても輸出をせざるを得ない厳しい状況が続いている。

4. その他の議題

①持去り問題に関して

- ・今年春先まで持去りが大量に発生していたが、古紙価格の暴落に伴って現在は完全に無くなった。したがって行政回収の数量が去年に比べて格段に増えている。
- ・市況が厳しい状況にも関わらず、メーカー直営のある古紙問屋が持去りされた古紙を積極的に買っている。
- ・持去りの罰則規定が出された当初は少し減ったが、ほとぼりが冷めて、また以前の状態に戻り始めている。
- ・昨年10月以降、ステーション回収から個別回収に切り替わり、持去りが減ってきている。
- ・古紙価格が一桁になって、持去りが減ってきた印象がある。

②ポイント制古紙ボックスに関して

- ・初期投資費用は500～800万円で5年償却としているが、現在の市況でも採算が取れている。今年に入ってすでに3店舗増やした。下期も5店舗計画中。
- ・毎月30～50t集まっている。既に償却が終わっているため、今後販売価格が一桁になってもやっていけると考えている。今後も継続的に増やしていく予定。

③古紙の引取りに関して

- ・最近になって管理会社からの回収依頼や問い合わせが急激に増えてきている。恐らく、既存の業者で回収を辞退するところが増えているためと思われる。
- ・新規で少量の引取りは、基本的に1回の回収につき500円～1,000円もらっている。
- ・ドライバー不足と市況の悪化のため、回収先の見直しを実施しなければならない。そのため現在、各回収先の回収効率や引取り価格な

どの条件を整理している。

- ・回収効率を上げるために、回収先へは段ボールを畳んで整理して出してもらったり、回収回数を減らしてもらうなどの協力を依頼している。



〔懇親会・歓迎挨拶〕紙縁会 岩本会長

5. 閉会の辞

紙縁会 岩本会長

本日は皆さんに忌憚なく様々な意見を出してもらいました。今後も会社や組合などで、我々若手が積極的に意見を出していくことがこの業界の将来にとっても大事なのではないかと思います。この六地区懇談会で築いたネットワークを生かして各社の成長につなげるとともに、この業界が活性化することを切に願っています。



〔懇親会・司会〕紙縁会 田中氏

懇談会終了後に、「古紙屋の勉強会」として、重機メーカーと塵芥車メーカーによる安全対策

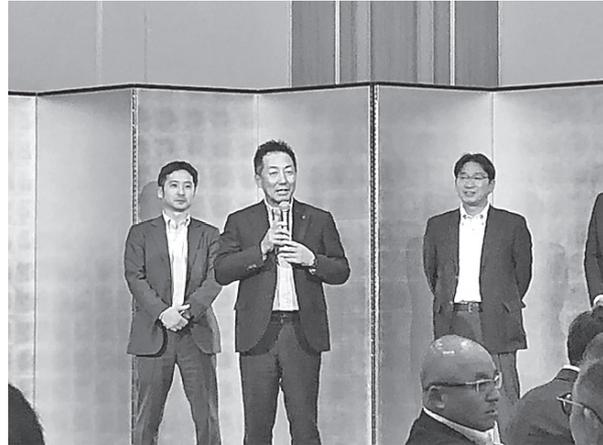
に関するプレゼンテーションが行われ、勉強会後に同会場にて懇親会が開催されました。



[懇親会・乾杯の発声] 中国商組 古江氏

中国地区製紙原料直納商工組合の古江氏の乾杯の発声で懇親会がスタートし、余興では広島のプロバスケットチーム「広島ドラゴンフライ

ズ」の専属チアリーディングチーム「フライガールズ」によるパフォーマンスが行われ、大いに盛り上がりました。最後は次回開催地区である四国製紙原料商工組合の小池副理事長の中締めで懇親会はお開きとなりました。



[懇親会・中締め] 四国商組 小池副理事長



[懇談会] 各地区代表



[懇親会] 各地区代表

新聞雑誌選別、さらに革新。

紐切装置付選別コンベヤーライン

ヤードスペースに合わせ、自由にレイアウト。

営業品目

- 各種破袋装置
- 古紙梱包機投入用コンベヤー
- 空カン・空ビン選別コンベヤーライン
- 各種シュレッダー投入用コンベヤー
- 再生資源産業用各種コンベヤー
- 各種省力機械設計・制作



株式会社 拓己技研

〒444-0937 愛知県岡崎市島坂町字川田5番地3
TEL (0564)64-3692 FAX (0564)64-3693

デジタルロードセル式トラックスケール

高精度・低価格・短納期 5t～100t 各種計量管理システム

鎌長製衡株式会社

<http://www.kamacho.co.jp>

- | | | |
|-------|---------------------|------------------|
| 本社・工場 | TEL(087)845-1111(代) | FAX(087)845-7442 |
| 東京支店 | TEL(03)3243-2080(代) | FAX(03)3243-2081 |
| 大阪支店 | TEL(06)6339-0131(代) | FAX(06)6339-0139 |
| 名古屋支店 | TEL(052)586-1451(代) | FAX(052)586-1467 |
| 九州支店 | TEL(092)281-5328(代) | FAX(092)281-3822 |
| 中四国支店 | TEL(087)845-1140(代) | FAX(087)845-7442 |

特集 22年前(1997年=平成9年)の古紙余剰を振り返る。若い組合員へ過去の歴史認識を!

古紙の先行きが不安視されている。今年の4月以降、国内の古紙消費が前年比 96.8%となり古紙在庫が増えている。また、2019年1月から7月の中国への古紙輸出は前年比 59.9%と大きく減少している。

この特集では、1990年以降ない古紙余剰を取り上げる。1970年生まれ以降の人は知らない古紙余剰問題を知ってもらい、若い世代には明るい未来の構想を期待します。

当時の経済 1975年、1997年

図1のグラフは、国内総生産の成長率（GDP）の推移である。1955年から1973年は高度成長期であり、その間の平均GDPは9.1%に達した。1974年のGDPはマイナス0.5%と不況に陥った。オイルショックと物価高騰がある。

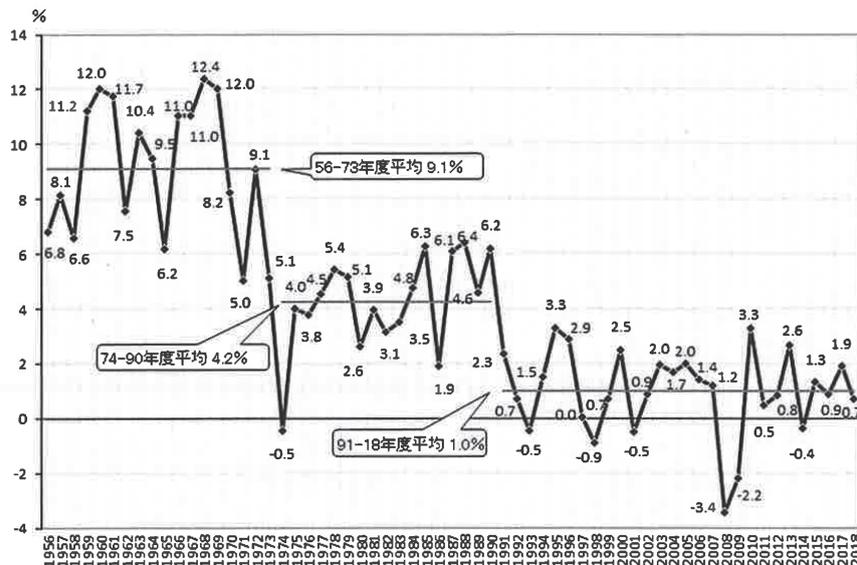
1998年、金融機関の破たんが相次いだ。バブル崩壊後の不況である。この年のGDPはマイナス0.9%。2008年、リーマンブラザーズが破たんした。リーマンショックによるGDPはマイナス3.4%である。

P24の写真は、1975年（昭和50年）の余剰時のもの。前年は戦後初のマイナス成長となった1974年。国内に吹き荒れた不況が古紙価格を暴落へと導いた。

もう一枚の写真（P23）。1997年（平成9年）にアジア通貨危機が起こった。日本では1995年から1998年にかけて、数多くの銀行が破たんした。1998年のGDPはマイナス0.9%と不況となった。

図1

経済成長率の推移



(注) 年度ベース。複数年度平均は各年度数値の単純平均。1980年度以前は「平成12年版国民経済計算年報」(63SNAベース)、1981～94年度は年報(平成21年度確報、93SNA)による。それ以降は2006SNAに移行。2019年4-6月期1次速報値 <2019年8月9日公表>

(資料) 内閣府SNAサイト

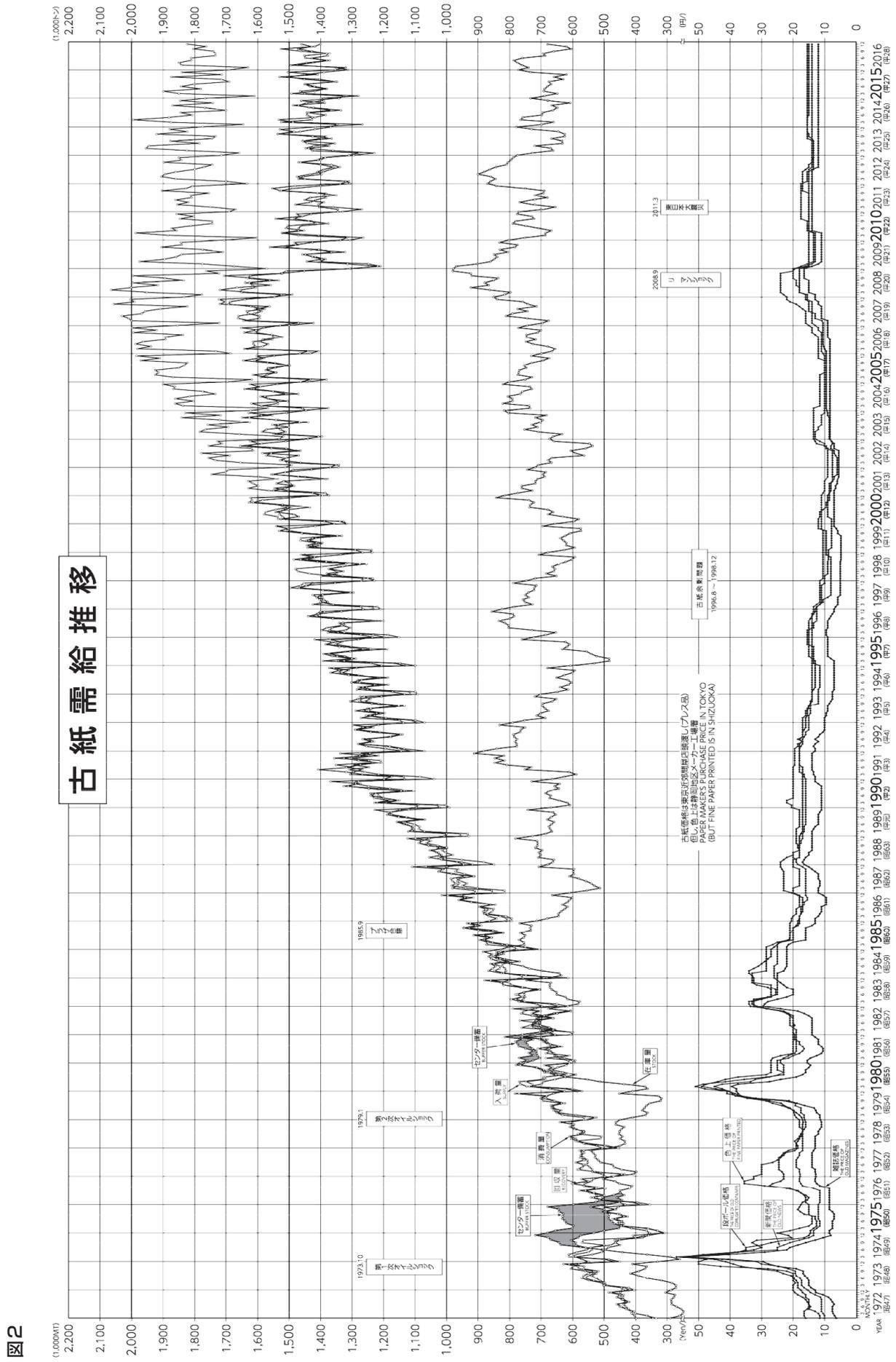


図2

(公益財団法人 古紙再生促進センター 古紙ハンドブック 2017)

国内総生産と古紙在庫

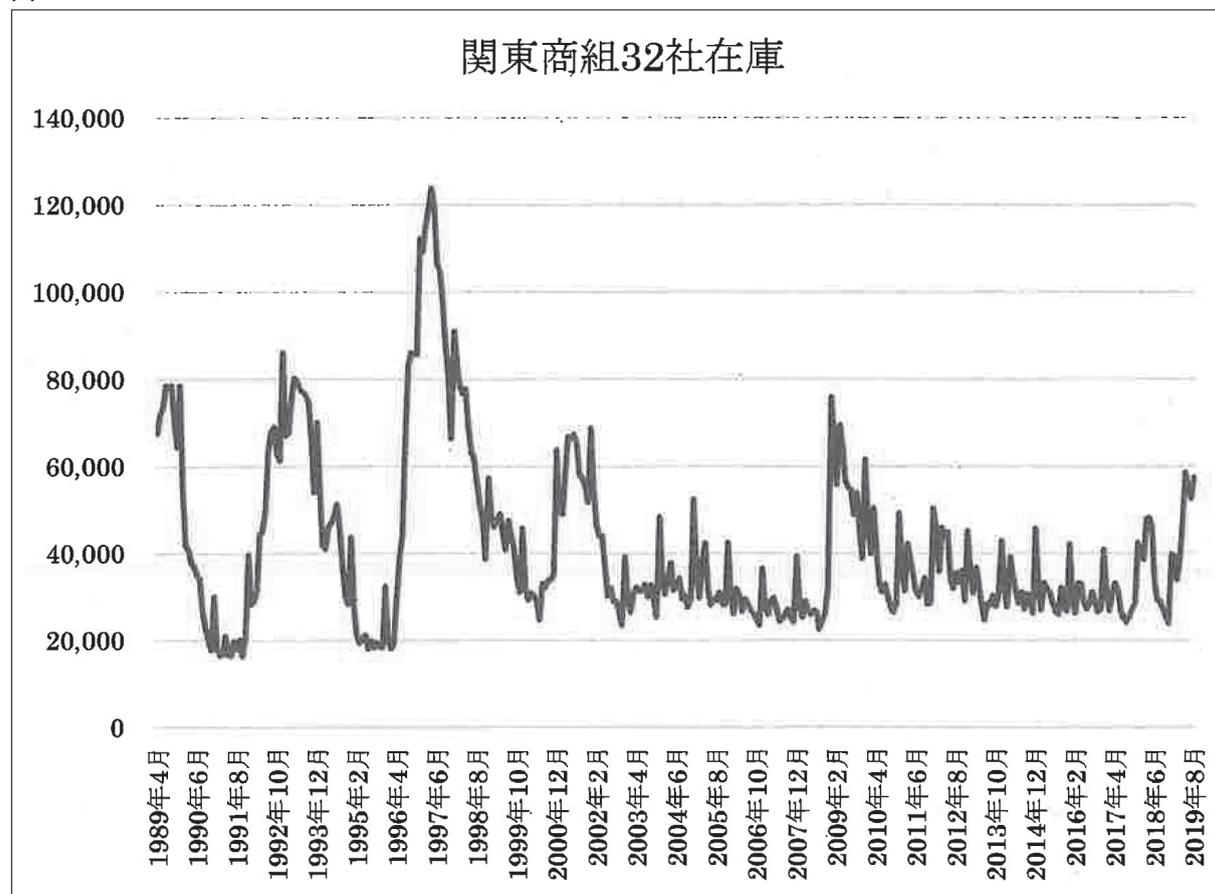
なぜ古紙は余剰と不足を繰り返すのか。経済変化を表す GDP 増減から考えてみたい。

図2は、古紙需給推移（出典 古紙ハンドブック 2017 古紙再生促進センター）。この図から製紙会社の古紙在庫量推移を見ている。そして、図3は、関東商組32社在庫推移。この二つを見比べてみる。

1989年以降、折れ線グラフの山が5回ある。図2と図3の折れ線グラフの山と谷の線形は同じになっている。製紙会社と古紙問屋の在庫増減は、同期していることがわかる。

図1のGDP推移と図2・図3を見比べてみる。山と谷の年度にズレが見られるが、山谷の推移は同じ線形である。このことから、経済成長率の増減が古紙在庫の増減に影響を与えていると言える。

図3



(関東商組集計)

在庫管理と需給調整

在庫管理を図2の古紙在庫推移から見てみる。1974年、1980年にセンター備蓄がある。また、1973年から1985年の古紙在庫推移は、製紙会社の消費量推移と、ほぼ同じ量となっている。この期間は製紙会社が在庫管理を行っていると言える。

1985年以降、古紙消費量は増加していくが、製紙会社の古紙在庫は安定している。この時期から在庫管理の主体は、古紙問屋へ移っていく。製紙会社と古紙問屋での在庫管理が始まったと言える。

1985年から2000年の間、需給調整は、古紙利用率を増やすことで行っている。1985年の古紙利用率

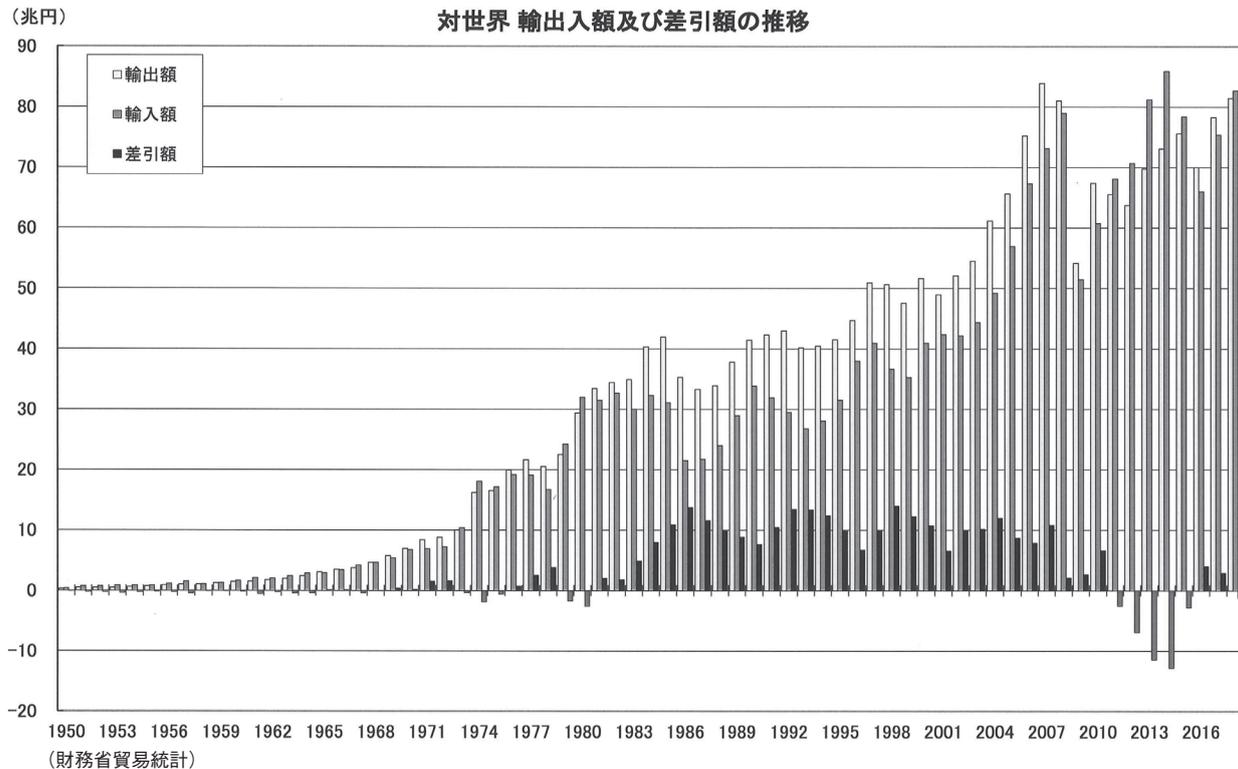
は49.3%、2000年は57%となっている。この期間の後半、1996年から1998年を古紙余剰問題の時期としている。この古紙余剰問題は、古紙利用率増で需給調整することが困難になったことを示している。リサイクル法によって需要を上回る古紙が供給されることが顕在化した時期が2000年と言える。

図4 貿易収支の推移を見てみる。1980年から2007年にかけて貿易差引額の棒グラフがプラス（輸出の方が多）の山脈になっている。日本経済全体の輸出量がプラスであることは、紙製品や紙製包装品としても、輸出がプラスであったと言える。そして、回収された古紙が紙製品や紙製包装品に姿を変えて輸出されていたと言い換えられる。

このことから図4の1985年から2007年の貿易収支プラスの山脈時期は、古紙需給調整にとって「良い環境」であったと考えられる。

では2000年以降はどうなったのか。図2の2000年以降は、古紙回収量と古紙消費量のグラフが離れていく。2003年に古紙利用率は60%に達したが、消費量が伸びていない。古紙需給調整にとって「厳しい環境」の時期に始まったのが“古紙輸出”での需給調整である。

図4



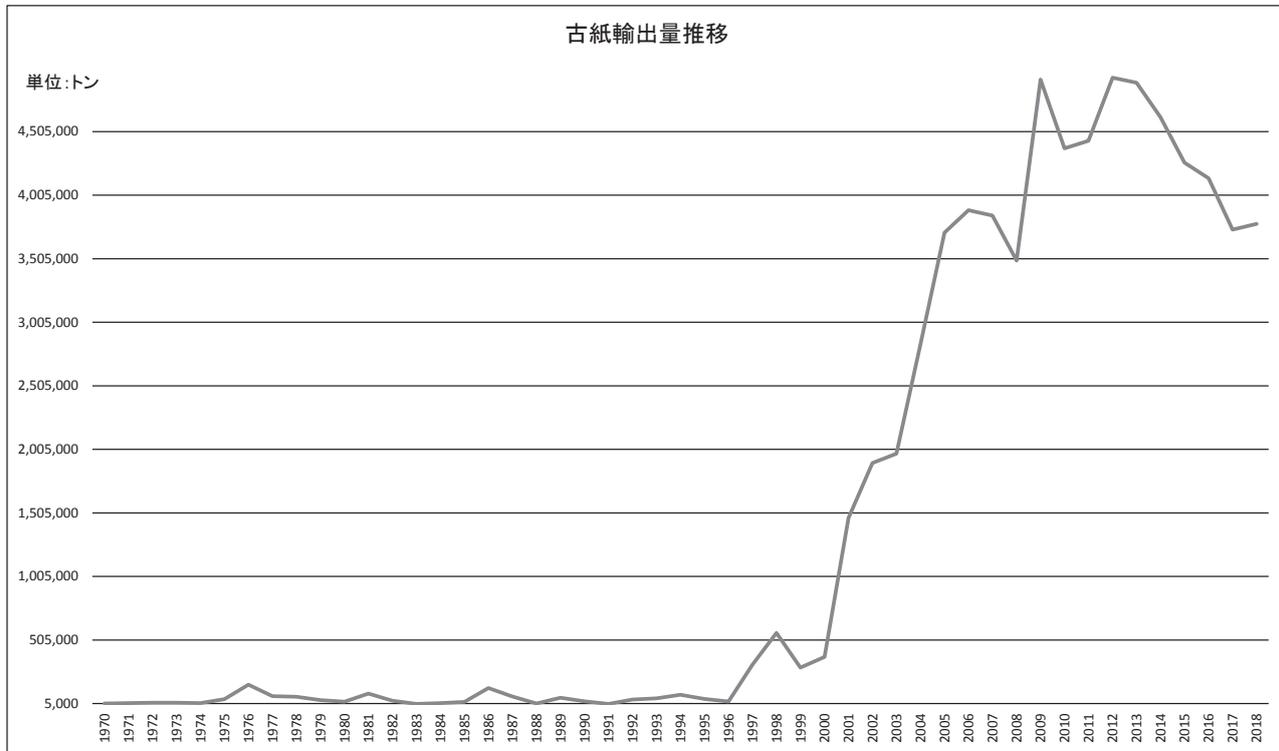
貿易収支と古紙輸出

図5は、1970年以降の古紙輸出量である。2000年の37万トンから2012年には492万トンと増えている。以降は減少に転じ2018年は377万トンとなった。

図4の貿易収支を見ると、2011年東日本大震災から貿易収支がマイナス（輸入の方が多）に転じている。貿易収支がマイナスは、増加した輸入物が国内に流通した後に古紙として回収される。古紙の需給調整が働き、2011年から2015年の貿易収支マイナス期間は、古紙輸出が年400万トン超になった。

貿易収支は、2018年に再びマイナスとなった。貿易収支は2011年を始まりに、マイナス基調へ転じた。または、貿易黒字の山脈が終焉したと考えられる。このことから、需給調整にとって古紙輸出の重要性が高まったと考えられる。

図5



(財務省貿易統計)

余剰対策の変遷と現状の課題

1956年から1973年の高度成長期。この時期の古紙余剰対策について知ることはできない。1973年のオイルショック以降の余剰対策をここまで述べてきた。

1973年から1985年までは、製紙会社の古紙在庫量と古紙消費量が同じとなる、製紙会社が主体となって余剰対策を行っていた時期。

1985年から2000年までは、製紙会社が“古紙利用率”を増やすことで、余剰対策を行ってきた。

2000年から2018年は、古紙問屋が“古紙輸出”で余剰対策を行ってきた時期。そして、2020年に中国では固形廃棄物輸入禁止となる。その影響で2019年は東南アジアへ輸出先を切り替え始めたが、余剰する古紙全てを輸出できるか楽観できない。2020年以降の余剰対策を古紙輸出で行うことが課題となっている。

ここからは、法制度による余剰対策の変遷を見ていく。

- 1991年 資源有効利用促進法（リサイクル法）が施行
- 1994年 環境基本法が施行
- 1997年 容器包装リサイクル法が施行
- 2000年 グリーン購入法が施行

2001年 循環型社会形成推進基本法が施行

1990年代、廃棄物の最終処分場の確保が年々困難になっていること、不法投棄の増大、などの環境問題が大きくなった。廃棄物を減らすために、1991年資源有効利用促進法が施行され、リサイクルが促進されていくが、これが古紙回収量を大きく増やすことになり1997年の古紙余剰問題の要因となっていく。

ゴミを減らし古紙を集める入口だけで出口のないリサイクル問題解決のため「大量生産・大量消費・大量廃棄」型の経済社会から脱却し、環境への負荷が少ない「循環型社会」を形成することに解決策を求めて、グリーン購入法、循環型社会形成推進基本法が施行された。

環境基本法に基づき、1994年に環境基本計画が施行。2018年に第5次環境基本計画が施行されている。環境基本計画は、環境、経済、社会の変化に合わせて見直しを重ねている。

2000年以降、紙のリサイクルは、古紙の輸出が貢献して循環している。しかし、2020年の中国の古紙輸入禁止問題で循環型社会形成は脆弱性を増している。東南アジアへの輸出切り替えによって生じる諸問題が起きた際には余剰が懸念されるが、リサイクル関連法が寄与して国内での需給調整が進むと考えられる。

今は余剰問題なのか

古紙は、経済変化によって在庫が増減している。経済変化を読み解く資料として国内総生産と貿易収支がある。2019年の4月から6月GDPはプラス1.6%。1月から6月の貿易収支はマイナスである。

他方、懸念されている1月から7月の古紙輸出は前年比76.9%。そして、1月から7月の古紙消費量は前年比97%である。古紙輸出は大きく減り、国内古紙消費も前年割れとなっていることから余剰が進んでいると言える。

GDPはプラスであるが、古紙消費量がマイナスになっていることを注視したい。実際に2019年後半の経済は減速していると感じ取れる。さらに貿易収支がマイナスになっているため古紙需給調整にとって「厳しい環境」にあると言える。

さて、図2の古紙需給推移にあるように、1996年8月から1998年12月の期間を「古紙余剰」としている。

1997年には、写真(P23)の古紙再生利用促進決起大会が行われた。

図3 1996年8月、関東商組32社の古紙在庫は8万トンを超えた。12月に11万トンを超え、1997年4月に12万トンの在庫を記録し、1998年1月まで8万トンの在庫であった。このように在庫8万トン超が長期化すると古紙余剰問題となると言える。

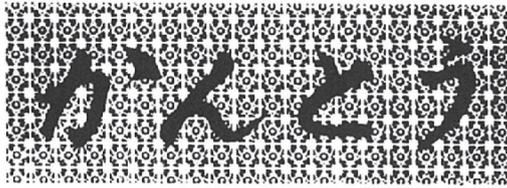
2019年8月在庫は5.7万トン。今は古紙需給調整の厳しい環境にあり、在庫は増加傾向である。

(かんとく編集部会 部会長 斎藤大介)

資料掲載 P19 ~ P24

22年前の余剰時の「かんとく」記事！
中部商組会報より

広報
第66号



発行
関東製紙原料直納商工組合
理事長 畑 俊一
発行者 田 巻 宏一
東京都台東区東上野1-13-10小宮山ビル
電話 03(3833)4105(代)

主な内容

巻頭言	1	厚生年金基金設立準備	
かんとう論壇	2	スケジュール・その他	8~12
役員会報告	3~5	近くて遠い国への旅	12~16
ご結婚おめでとう	4	「ハロー」アメリカ	17~18
国際取引は信用が大事	6	第四支部研修会	19
関東商組第30回総会	6	編集後記	19
健康の話あれこれ	7	暑中広告	20

雑誌の余剰対策には官民一体の理解と協力を

理事長 畑 俊一

長引く需要不振で皆様余剰古紙の対策には大いに苦慮されておられることと思います。関東商組主要三十二社の五月度の数値も、発生が減ってきたとはいえ、依然在庫は主要三品種(段ボール、新聞雑誌)合計で八万トン弱、在庫率三十七・五パーセントと高水準にあります。問屋ヤードの保管能力は二十パーセント前後の為、余剰分については各自の負担で営業倉庫を借りたりして何かと対応してきましたが、すでに限界に達しております。

特に問題になっていきますのが雑誌です。雑誌の在庫率は六十一・三パーセントに達し、我々の管理能力を大巾に越える事態に至りました。このため先般来、国や自治体に実情を訴え、余剰対策への理解と協力を求める行動を起しておりますが、ここに来て新たに品質問題が在庫増に追い打ちをかけるような形で起こって参りました。即ち、禁忌品であるところの感熱発泡紙やシール紙などが雑誌に混入し、白板紙メーカーで製品トラブルが多発、雑誌の受入制限や新聞利用への一時的転換といった厳しい処置をとるメーカーが出ていることが報告されております。

禁忌品対策につきましては、新商品の出現により我々の選別努力だけでは解決しえない部分もあり、製造メーカーや或いは消費者に対し啓蒙活動を行って、発生元でそれらを排除するような対策が必要かと思われまます。需給両業界の共通の問題として、古紙再生促進センターに対しても事業の一環としてこのPRや研究に取り組んで頂くよう要望致しました。

何れにせよ七月は古紙の発生月です。このままだけは雑誌の余剰在庫が社会問題化するものと懸念されます。引き続き関係官庁へ働きかけ、一方マスコミを通して一般消費者へもリサイクル運動の高まりの中で古紙業界が陥っている窮状を訴えて参らねばならないと考えています。

一部、段ボールなどにつきましては在庫も、昨年と比較すればまだ二倍強のものがありますが、減少傾向にあり、やや明るい見通しがでております。新聞も新聞用紙に古紙の配合率を高めようとする動きがあり、将来的には市場も改善されていくものと思えます。このような時こそ業界が一致団結し前向きに事にあたれば道は開けてくるものと考えますので、皆様の更なるご協力をよろしくお願い申し上げます。

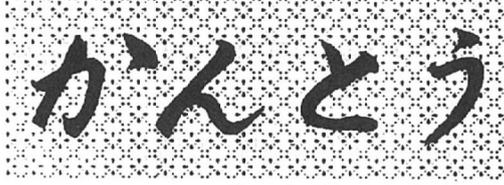
(平成五年六月二十五日)

(1) 第88号

かんとう

平成9年3月25日 (火)

広報
第88号



発行
関東製紙原料直納商工組合
理事長 畑 俊一
発行者 田 巻 宏 一
東京都台東区東上野1-17-4 坂田ビル
電話 03(3833)4105 (代)

主な内容

巻頭言.....	1	東京都第一支部だより.....	11
役員会報告.....	2	北欧清遊の記(10).....	13
三紙会報告.....	5	みんなの広場.....	17
中国の製紙及び古紙事情.....	6	編集後記.....	18
古紙雑感.....	10		

非常事態の古紙市場

関東製紙原料直納商工組合理事長 畑 俊一

この関東地区の問屋は製紙メーカーから二月と三月に古紙の購入価格を再び引き下げるという通告を受け取りました。昨年九月から四回に及ぶ値下げで、段ボール、雑誌はそれぞれキロ当り四円も値下がりすることになります。殊に雑誌においてはキロ五円という、問屋の加工コストも無視したかつてない購入価格が提示されたわけです。

この背景には言うまでもなく私共が最も対応に苦慮している過剰在庫があります。昨年来、行政がごみ減量化対策の柱とする再生資源の分別排出は、その資源の需要開拓をも同時に進めなければ必ず余剰問題を引き起こすということを、機会あることに申して参りました。今回の事態が総てこの為であると申しませんが、不況風の吹くなかで大量の在庫があり、しかも自らの手で需給調整もできないという実情が市場に大きな心理的な影響を与えていることは間違いと考えます。

昨年メーカーの古紙利用率は前年並の五十三パーセント台に止まりました。取り組んでおります新規用途開発も実用化にはもうしばらくの時間が必要です。一方ごみの減量化は今年更に積極的に押し進められます。現状はいわばリサイクル社会形成への過渡期のひずみに古紙業界だけで対応しているという格好であり、手詰まりの今、もう焼却しかないというのが大方の本音ではないでしょうか。

少なくとも在庫コストだけでも軽減させなければ、今回の新価格では回収業界へ前代未聞の逆有償受入をお願いせざるをえない事態となります。延いては物理的にも採算的にも受入停止という最悪の選択をしなければならぬ時を迎えることになりましょう。

行政やメーカーにおかれてはこの実態を真剣に受け止め、実効ある対策の実施と、同時に古紙リサイクルを正常な姿で働かせるための条件整備に前向きに取り組んで頂きたい切望いたします。

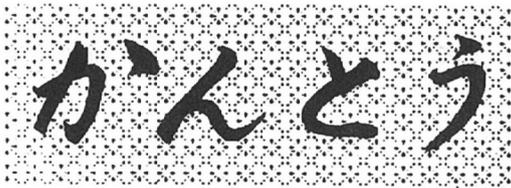
(平成九年二月二十日)

(1) 第89号

かんとぅ

平成9年5月25日(日)

広報
第89号



発行
関東製紙原料直納商工組合
理事長 畑 俊一
発行者 田 巻 宏一
東京都台東区東上野1-17-4 坂田ビル
電話 03(3833)4105 (代)

主な内容

巻頭言.....	1	古紙再生利用促進決起大会.....	10
役員会報告.....	2	北欧清遊の記(11).....	13
三紙会報告.....	4	みんなの広場.....	18
業界の未来と組合青年部.....	5	編集後記.....	20

「古紙再生利用促進決起大会」をバネに

関東製紙原料直納商工組合理事長 畑 俊一

昨日(四月二十一日)、全原連主催の「古紙再生利用促進決起大会」が開催されました。詳細は別稿に詳しいと思いますが、リサイクル推進の過程における再生利用対策の遅れと、その結果引き起こされた古紙業界の窮状について、社会的な関心が大いに高まったという手応えを感じております。短い準備期間でこれだけの大会が開催できましたことは何より皆様のご協力と業界挙げての団結の賜物と厚く御礼申し上げます。これから我々は、今大会で得られました成果を何一つ無駄にすることなく、古紙リサイクルの正常化に向けて更に努力して参らねばならないと考えております。

ともあれ先ずは直面する在庫問題であります。ご承知の通り墨田区において四月二十一日から雑誌の回収が停止されました。扱うほどに赤字となる市況であり、問屋の在庫能力も限界に達したとなつては誠に残念ながら致し方ないことかと思ひます。この動きは他地域にも波及しております。関東商組もエリア内の地方自治体に対して、関与する資源回収の対象品目の中から在庫調整の為三カ月ほどの間雑誌を外してもらうよう要望書を発送したところあります。

こういった現状がマスコミにも取り上げられるようになり、ようやく社会的な問題となつて自治体も動き始めました。この機運を、単なる現在在庫の軽減に終わらせることなく、法的整備も含めた将来の古紙リサイクルシステム作りにつなげて参らねばならないと考えております。

また東京都が「東京ルール」に則つて計画しております週一回の資源回収については、R団連を通じて、問題を積み残したままの実施には反対する旨を明確にした申入書を提出いたしました。十分な調整を図らないままのこういった行政の資源回収は、古紙市場を乱し我々古紙業界を窮地に陥れるばかりでなく、市民にとつても好ましいものではありません。今回の混乱を貴重な勉強材料として、行政、業界、市民が論議を尽くしたうえで最良の方法を作り上げていくことが求められていると考えます。

(平成九年四月二十一日)

平成9年5月25日 (日)

か ん と う

(10) 第89号

古紙再生利用促進決起大会 報告

主催 全国製紙原料商工組合連合会

平成九年四月二十一日

日暮里サニーホール(ホテルラングウッド)

業界内外の注目を集めた全原連主催の決起大会が盛況に開催された。さすがに今、社会問題となっているテーマだけあって、当初四〇〇名を予定していた参加者は、開始時間がせまるに連れ続々と詰めかけ七五〇名を数えた。サニーホールに入りきれない約二〇〇名がロビーのモニターで見守る中、大会は終了予定時間を大幅に過ぎてもお活発な討議が続いた。



大会終了後記者会見での全原連 服部春見理事長

大会式次第

- 1 開会宣言
総合同会 栗原 正雄
近畿製紙原料直納商工組合 理事長 竹内 守
- 2 大会会長挨拶
全国製紙原料商工組合連合会 理事長 服部 春見
- 3 大会実行委員長挨拶
関東製紙原料直納商工組合 理事長 畑 俊一
- 4 オリエンテーション
「古紙リサイクルの現状と将来に向けて」
パネルディスカッション
「これからの古紙リサイクルを考える」
司会 滝本 義継
- 5 (パネラー)
古紙ネットワーク代表 中村 正子
東京都清掃局リサイクル課長 紺野 秀之

製紙連合会古紙部長

大居 昌彦

日資連リサイクル 促進部長

紺野 武郎

東京協組 厚生部長

高山 才亮

静岡商組 理事長

鈴木 清久

関東商組 副理事長

深田 豊作

関東商組 副理事長

斉藤 明

6 大会宣言

関東製紙原料直納商工組合

副理事長 大久保 信隆

7 来賓挨拶

衆議院議員 齊藤斗志二

衆議院議員 大畠 章宏

衆議院議員 河村たかし



大会実行委員長として挨拶をする畑 俊一 全原連副理事長

8 閉会宣言

衆議院議員 西川太一郎

東京製紙原料協同組合

理事長 富澤 一郎

〈大会主旨〉(要約)

我々、業者および全原連は、環境保全、ごみ減量推進に貢献すべく、古紙再生促進に努めてきたが、全国的に広まるリサイクルの気運に供給過剰が続く在庫が飽和状態になっている。回収された古紙が再びごみ化しないためにも、一層の古紙再生利用の促進と新たな利用分野の開拓が必要であり、ここに大会を開催し、新立法措置の要望を含め古紙の利用促進を全国的に訴求する。

全原連 古紙再生利用促進決起大会

余剰解消に向け新立法の必要性を強調

全国製紙原料商工組合連合会（服部春見理事長）は4月21日、都内のホテルにおいて古紙再生利用促進決起大会を開催した。

製紙原料問題は現在、古紙の余剰で苦境に追い込まれているが、全原連では早急に対応策を講じなければ継続的な荷受けが不可能になり、古紙がゴミ化すると主張。決起大会では関連業界団体、製紙メーカー、市



官民パネラー参加のディスカッション

民団体、行政、マスコミ、国会議員などの出席も得て、新立法を含めた対策の必要性を強く訴えた。

大会は服部理事長および畑俊一大

会実行委員長・関東製紙原料直納商工組合理事長の挨拶で始まり、続いて大会用に作成した15分ほどのナレーション付スライドを映写。古紙リサイクルの現状を説明した後、「これからの古紙リサイクルを考える」と題したパネルディスカッションに移行した。

古紙原料商だけでなく、行政、回収、市民、製紙サイドからもパネラーが参加し、予定時間を超えて積



挨拶する服部春見理事長

極的な意見が出された。以下はコメントの一部。

◇日本再生資源事業協同組合連合会リサイクル推進部長

紺野武郎氏

「古紙利用促進についての行政の見解なども不明確なものが多い。また、古紙価格に関し製紙メーカーが国際競争力を言うのもわかるが、むしろ内圧を利用して外圧をはねのけるためにも、再利用に前向きに取り組んでもらいたい」

◇日本製紙連合会古紙部長

大居昌彦氏

「製紙も古紙もグローバル化しており、否応なしにドルベースの競争を前提にする必要がある。さらにゴミ処理はゴミを出す方がお金を払う世界なのに対し、古紙は製紙メーカーが買うマーケットの世界。ゴミ減とマーケットを区別して考えなければいけない」

決起大会は、①消費者、国、公共機関は古紙利用製品の使用を ②自治体は原料問題のプレス加工処理施設を有効活用せよ ③国や自治体は古紙余剰時の備蓄基地と輸送物流拠点を整備せよ ④消費者は分別回収に協力を ⑤国は古紙利用促進法の制定を早期実現せよ——とした宣言を発表して閉幕。法制化に向けた全原連の強い意欲が窺われた。

大会終了後の記者会見では、通産省に対し全原連としてすでに法整備を要望していること、容器包装リサイクル法が完全実施される2000年を新法成立の目途に考えていること、関東商組が6～8月の3カ月間、家庭内で雑誌古紙を備蓄するよう要請することなどが語られた。また備蓄・輸出基地については構造改善事業の一環として計画中で、新法よりも実現が早いのではないかとの見通しも示した。

昭和50年 1975



●組合結束古紙デモを挙行 7月30日



委員会トピックス

安全防災委員会

移動委員会報告

日 程：2019年9月10日～11日

参加者：(株)齋藤商店 齋藤米藏 濃田博康
 (株)國光 山室一敏
 (株)丸十商店 高橋德行
 (株)富澤 富澤進一
 (株)坪野谷紙業 清水毅
 (株)栗原紙材 上原崇志
 事務局 中山淳一
 (株)大久保 大久保薫（報告者）

関東商組 安全防災委員会では、「全原連加盟組合員全社の無事故・無災害達成!!」を目標に、年4回の安全ポスターの作成、安全セミナーの開催、そして、安全DVDや安全手帳を通じた安全啓発活動をしています。「安全」は組合員共通の願いでもあることから、もっと全国の皆さんを巻き込んだ活動にしたいという主旨のもと、昨年より移動委員会を開催しています。今年は、九州商組、そしてその青年部でもある紙藍会より7名ご参加頂き、熊本にて開催しました。



集合写真

移動委員会は、2020年度の年間ポスター、春のリーフレットの制作、さらに、各社の安全対

策や直近の事件事例を通じた改善点、要望事項等の意見交換を議事としています。安全委員会メンバーだけでなく、当日参加できない九州のメンバーへも、同内容のアンケートにご協力頂き、闊達な意見交換となるよう、事前に準備し臨んでみました。

2020年といえば、やはり東京オリンピック。よって、キャッチフレーズやポスターのテーマは、オリンピックに関連したものが多かったです。他にも、「事(二)故0、火事(二)0」と2020年をもじったものや、「自転車に乗ったりス→リスサイクル→リサイクル」とリサイクルをもじったもの、熊本だけに「くまモン」や熊本地震の復興に関するものなど、沢山のアイデアを頂きました。なお、何を正式採用としたかは、2020年度のポスターがお手元に届くまで、秘密とさせていただきます。



九州商組・紙藍会メンバー

各社の安全対策としては、昨今のあおり運転の影響もあり、回収車両へドライブレコーダーの設置をしている会社が多かったです。また、安全手当（無事故手当）や安全表彰、安全会議の実施や新人を含め、全ドライバーの同乗訓練を実施している会社もあり、各社工夫をこらした安全の啓発活動をしていました。

また、会議当日は関東を直撃した台風15号の翌日だったことや、毎年のように九州に猛威を

奮う災害の影響もあり、水害対策や地震対策や災害マニュアルの作成などが要望として挙げられました。

最後に、今年起きた2件のベラー死亡事故を受け、二度と同じ事故を起こさない為、修理時・点検時のベラー鍵抜きを徹底を願い、『鍵を抜け！命を守れ!!』というフレーズのポスター、ベラー操作盤に貼れるマグネットを作製した旨を説明し、無事に会議を終えました。

翌日は、九州のど真ん中、日本最大のパワースポットである高千穂へむかい、関東商組、全原連の安全祈願をして参りました。天岩戸神社、高千穂神社をお参りし、阿蘇山の火山活動によって噴出した火砕流が、長い年月をかけ侵食されて出来た柱状節理の美しい峡谷、高千穂峡を巡り、事故なく安全に、帰路につきました。今回安全祈願をしたお守りは、組合に掲示しておりますので、組合にいらした際は、是非ご覧下さい。

今後も安全防災委員会では「全原連加盟組合員全社の無事故・無災害達成!!」の目標を達成するべく、全国の皆様と一緒に、地道で継続した安全活動に取り組んでいきたいと思ひます。



高千穂峡

省エネベラー誕生
SW770 HEシリーズ
 HIGH SPEED.HIGH PRESSURE
 AND ENERGY SAVING

契約電力DOWN!!
 消費電力 **25%** 以上削減!!
 消費電力DOWN!!

株式会社 昭 和
 本社 〒134-0091 東京都江戸川区船堀2丁目23番21号
<http://www.showa-press.co.jp> 電話 03-3689-0303

WorkVision
 Creating Value for The Future

お問い合わせ先
 ビジネスソリューション営業部一部
 営業担当：神崎 貴徳
 TEL：03-4233-0945 FAX：03-5463-1138
 *旧社名 東芝ソリューション販売株式会社
 2019年7月1日より社名変更となりました。

システムは「所有」から「利用」へ！

リサイクルシステム
 クラウド版リリース

シンプルで即戦力！ セキュリティと災害に強い！ サーバ購入・管理不要！

二十一世紀の環境を守る。
 信頼のパートナー。
 古紙用ベラー番線。

豊かな環境を
 ワンダフル21世紀

- ・最良の品質
- ・豊富な在庫
- ・万全なサービス

株式会社 櫻 井
<http://www.kk-sakurai.com/>
 〒116-0014 東京都荒川区東日暮里4-13-12
 TEL 03-3803-3511
 FAX 03-3807-8153

巻数/サイズ	コイル 1巻	コイル 1巻	1+17-1巻	1+17-1巻
φ12 2巻%	50	100	500	1,000
φ10 3巻%	50	100	500	1,000
φ8 4巻%	50	100	500	1,000

ベラー番線

最良の品質・防錆OK
 ートラブル、ロスが少ない
 50K・100K・500K・1000K

坂野興業株式会社

東京本社 TEL03-3718-7311 FAX03-3724-8170
 浦安営業所 TEL0473-54-6531 FAX0473-51-5201
 静岡営業所 TEL054-624-1101 FAX054-624-6704

三紙会 Tweet

「運動の秋」

株式会社共益商会
鈴木 大介

「運動の秋」とお題をいただき、何故、秋に運動なのか、と今まで分からず放っておいた謎を調べてみました。

夏場は暑く、体温調節のエネルギーは少なく済みます。反対に秋から冬にかけて寒くなりますので、今度は熱を保つために多くのエネルギーを使い基礎代謝が上がります。つまり、肌寒くなる秋に運動をし、代謝をあげやすくしておくことで冬に備える意味があるのだそうです。

そうすると、秋と冬においしいものを目一杯、とお考えの皆さま。体脂肪を備える必要性の無い私も含め、代謝の上がる秋に有酸素運動を始めてはいかがでしょうか。ジョギングやサイク

リング、長時間継続して行える運動を是非、ご検討下さい。

最後にひとつ。『運動の秋』とかけて『古紙』とときます。

そのココロはどちらも『げんりょう(減量・原料)』が大事です。おあとがよろしいようで。



株式会社國光
村 梶 純平

6月より自宅で腹筋を始め、秋になった今でも何とか継続できています。

始めた動機は、運動不足である事と、Youtubeのおすすめ欄に綺麗なお姉さんが腹筋している動画が表示された事でした。

どれどれとその動画を見ながら、綺麗なお姉さんと一緒に腹筋を始めたのですが…。

やはり綺麗なお姉さんに励まされながら行う腹筋は長続きするのですね！

かなりきつい腹筋も「今日も頑張ろう！」「あと少し頑張ろう！」という気持ちになります。

ただ、始めた動機が不純の為、お酒を飲みながら腹筋を行っています…。腹筋→喉渇く→芋焼酎水割→そしてまた腹筋。

その為、特に体の変化はないですね。秋は食べ物がおいしいので、体型を維持すべく腹筋頑張ります。



業界人語



「就任のご挨拶」

(公財)古紙再生促進センター
常務理事
櫻井 孝史

この度、6月12日付けで公益財団法人古紙再生促進センターの常務理事に就任いたしました櫻井です。古紙センターには、昨年8月1日から事務局長として着任し、1年が経過したところです。元々は、経済産業省の出身で、昨年3月末に同省を退職しましたが、経済産業省では、大気汚染防止対策、化学物質管理、繊維産業やファインセラミックス産業の育成、原子力保安行政、中国における遺棄化学兵器の処理(内閣府への出向時)、直近では、ドイツでの太陽光発電等の再生可能エネルギーを利用したスマートコミュニティ実証など、多岐に亘る分野に携わってまいりました。

紙パルプ業界とのつながりでは、平成19年、当時の繊維課に在籍していた時に、現在、古紙センターの評議員を務めていただいている東大農学部の磯貝教授が世界で初めて開発した木材パルプ由来であるTEMPO酸化セルロースシングルナノファイバーの実用化応用研究に、新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の公的資金を獲得したことでした。プロジェクト

リーダーには磯貝教授に就いていただき、メンバーは製紙、印刷、化学のそれぞれのメーカーの参画を得て研究開発を実施し、毎月、会議を重ねたことが今でも思い出となっています。

古紙という観点では、今回が初めてとなりますが、いろいろな方のご指

導を仰ぎながら、紙リサイクルの維持・発展に向けて業務に携わっているところです。

趣味はと言いますと、若い頃はスキーに夢中になり、冬になると毎週のようにスキー場に出かけていて、スキー検定は1級を所持しています。最近に行く機会もなくなりましたが、あの頃が懐かしく感じられる今日この頃です。現在は、スポーツジムに週1回は通い、将来のための筋肉貯蓄を行っています。週2~3回まで増やしたいところですが、普段の業務もあり、そこまで回数を増やせないのが実状です。

最後に、古紙を取り巻く状況においては、昨年春以降の中国による2020年末古紙輸入ゼロや米中貿易摩擦の影響に伴う国内古紙不足に続き、一転して年初からの古紙余剰問題への対応など、中国に振り回された感もあります。このため、古紙センターとしてスピード感のある業務を推進していきたいと思っておりますので、今後とも皆様方のご指導、ご鞭撻のほどをよろしくお願い申し上げます。

編 集 後 記

月日が経つのが早いもの。令和二年が近づいてきました。政治が安定した一年になると良いですね。来年は、台湾、韓国、香港、アメリカで選挙があります。日本に影響がある国々です。やはりアメリカ大統領選挙が与える影響が気になります。イギリスのEU離脱期限も気になります。中でも強いインパクトになる事柄が、中国固形廃棄物輸入ゼロ。経済は政治的要因に翻弄されます。この数年こうした印象を強めています。

7月から始まる、オリンピック・パラリンピックは、楽しみであり

大イベントです。経済効果も期待されます。東京では物流規制が行われますが、製紙、古紙の物流も対応が求められるでしょう。オリパラ開催までの1月から6月が盛況となり、7月から12月は落ち着く。このような生産や物流になることが想定できます。

天災において、「想定外のことが起きました」と説明される場面が多くなっています。想定外の備えが必要だと思えます。

渋滞学の西成活裕教授は、講演の中で「生産性目標は100%以上にしていただけますか?」と質問しまし

た。当然のように100%以上と回答しますが、西成教授は「間違いだ」と指摘します。50%で利益が出るようにして、生産性最大70%を目標とすべきと言います。

不測の事態でも70%操業であれば、一時の生産低下を100%操業で早期に回復できる。サプライチェーン全体が70%で動いていれば、車間距離に余裕があるので、物流が遅延するが止まるまでにならない。渋滞のメカニズムは、経済にも通じるということ。目から鱗が落ちると思った出来事でした。

(編集人 斎藤大介)

**点検・修理時
電源OFF**

**命
を守
れ！**

**鍵
を
抜
け**



鍵を抜け 命を守れ!



点検・修理時電源OFF



安全カレンダー（無事故日は、○で囲む）

10月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
11月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
12月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
1月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
2月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29		
3月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31

点検・修理時は「点検中」や「操作禁止」などの表示を操作盤等の近くに見やすく表示することも大事です。



全国製紙原料商工組合連合会